大阪府感染症発生動向調査週報 （速報）

2026年 第26週（6月22日～6月28日）

今週のコメント

～ヘルパンギーナ～ 手洗いの励行と排泄物の適切な処理が重要

定点把握感染症

「ヘルパンギーナ 増加の兆し」

第26週の小児科・眼科定点疾患の報告数の総計は2,416例であり、前週比3.2%増であった。定点あたり報告数の第１位は感染性胃腸炎で以下、手足口病、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナ、咽頭結膜熱の順で、定点あたり報告数はそれぞれ4.77、3.85、1.78、1.22、0.63である。

感染性胃腸炎の報告数は前週比12%減の863例で、中河内7.63、南河内6.27、北河内6.14、大阪市西部5.20、大阪市南部4.82であった。

手足口病は63%増の697例で、北河内9.82、大阪市北部6.31、大阪市東部4.36である。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎は30%減の323例で、北河内4.00、中河内2.89、南河内1.93であった。

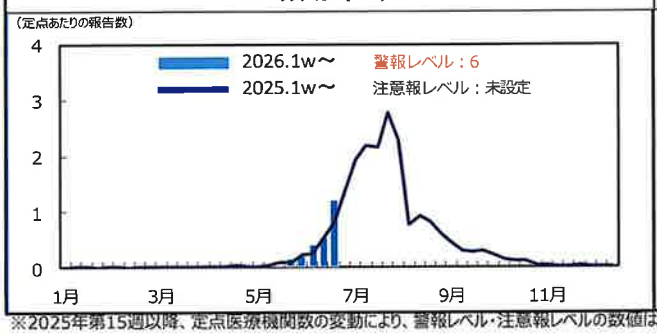
ヘルパンギーナは120%増の220例で、泉州2.65、北河内2.32、大阪市北部1.92である。

咽頭結膜熱は24%減の114例で、中河内1.63、北河内0.95、南河内0.93であった。

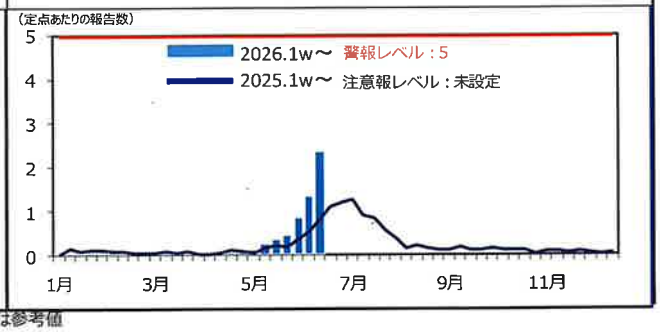
新型コロナウイルス感染症は10%増の242例で、定点あたり報告数は0.85である。北河内1.97、南河内1.26、中河内1.00、泉州0.94、大阪市西部0.80であった。

急性呼吸器感染症（ARI）は8%減の9,226例で、定点あたり報告数は32.37である。北河内45.36、南河内40.87、中河内39.28、大阪市北部34.80、堺市32.44であった。

ヘルパンギーナ



手足口病



※2025年第15週以降、定点医療機関数の変動により、警報レベル・注意報レベルの数値は参考値

表１．大阪府小児科・眼科定点把握感染症の動向（2026年 第26週6月22日～6月28日）

第26週の順位	第25週の順位	感染症	2026年第26週の定点あたり報告数	前週比増減	2025年第26週の定点あたり報告数	2026年第26週の年齢別患者発生数最大割合値
1	1	感染性胃腸炎	4.77	12%減	5.39	1歳_17%
2	3	手足口病	3.85	63%増	1.11	1歳_53%
3	2	Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.78	30%減	1.94	5歳_15%
4	5	ヘルパンギーナ	1.22	120%増	0.82	1歳_44%
5	4	咽頭結膜熱	0.63	24%減	0.88	1歳_44%
参考		新型コロナウイルス感染症（急性呼吸器感染症定点報告疾患）	0.85	10%増	1.22	10-19歳_33%
参考		急性呼吸器感染症（急性呼吸器感染症定点報告疾患）	32.37	8%減	35.38	1-4歳_45%

各疾患の詳細は、大阪府感染症情報センターホームページ（定点把握疾患、疾患別情報、病原体検出情報 ）をご覧ください。

第26週のコメント

～腸管出血性大腸菌感染症～ 食肉・食材の十分な加熱処理、調理器具の十分な洗浄や手洗いの励行などにより、食中毒や感染拡大の予防を徹底することが重要です。

全数把握感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症の原因菌は、ベロ毒素を産生する大腸菌で、代表的なものはO(オー)157、O26、O111がある。汚染飲食物を介する経口感染がほとんどで、出血を伴う腸炎や溶血性尿毒症症候群を起こす場合がある。3-5日の潜伏期をおいて、激しい腹痛を伴う頻回の水様便の後に、血便となる（出血性大腸炎）。発熱は軽度で、多くは37℃台である。有症者の6-7%では、発症数日後から2週間以内に、重症の溶血性尿毒症症候群を発症する。初夏～初秋は腸管出血性大腸菌感染症の報告が増加することから、十分注意が必要です。

腸管出血性大腸菌感染症(国立感染症研究所)
腸管出血性大腸菌感染症（大阪府感染症情報センター）

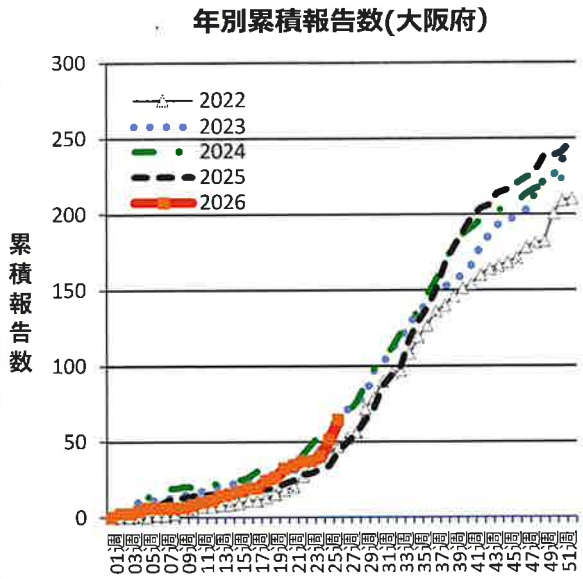


表２．大阪府全数報告数（2026年 第26週6月22日～6月28日）

注意：この週報は速報性を重視しておりますので、今後の調査に応じて若干の変更が生じることがあります
(報告があった疾患のみ記載しています。詳細は感染症情報センターホームページ＞【週報】＞全数把握疾患　をご覧ください。)

	疾患名 （ ）内の病型は今週報告分のみ 府内累積報告数の内訳は省略	報告数	豊能	三島	北河内	中河内	南河内	堺市	泉州	大阪市	府内累積報告数
３類感染症	**腸管出血性大腸菌感染症**	**13**								13	64
４類感染症	**レジオネラ症**	**4**	1			1				2	65
５類感染症	**劇症型溶血性レンサ球菌感染症**	**2**					1			1	43
	後天性免疫不全症候群	**1**								1	38
	侵襲性肺炎球菌感染症	**2**							1	1	145
	水痘（入院例）	**3**							1	2	37
	多剤耐性緑膿菌感染症	**1**			1						21
	梅毒	**14**	2			2				10	621
	百日咳	**2**				1			1		169
結核 （2026年4月分）	**結核　新登録患者数：36名**　（内　肺・喀痰塗抹陽性　（内　肺・喀痰塗抹陽性　21名） （府内累積報告数　290名、内　肺・喀痰塗抹陽性　93名）										

（2026年6月30日　集計分）